

③

### 今日気付いたこと

- ・ギャップのうめあたについてつかさが  
モデルを使つて考るこが無かつたので新規
- ・ユーチューブなどのはじりをしてみると  
たくにX-シグがわくなつた。

反而「そもそもギャップとは何が?」  
といふキモレタ"満"いてきた。

### 今後、改善すること

- ・今日、あつかったモデルをもくり見て  
みる。
- ・身近なプロダクトでギャップとどうか、  
うめつけるのが注意(みつけ)
- ・アウトカムの段階がまたモヤつと  
しているので明確化(たい)。
- ・KPIを立てるとモレソを細分化  
するといふことなのが?

# 気づいたこと

- ・アウトカムを100%コントロールは出来ない
- ・だからこそ考えることが大事
- ・ギターは 基準(想定) 以上の距離でしか扱い
- ・でも良いギター、悪いギターはある
- ・アウトプットとアウトカムはつながる?
- ・なぜ遠くのアウトカムまでもしくはつながる?
- ・これは言ふてもよしと/or アウトカム(飛躍),であるよ。

日月日 + 3 = ん

ヨ、(リ)休め!

マントルネス!

(おみまえ)

(直近だ先)

(少(半))

長期間、短期間 中期 などいたるところが考へられる。

3

付いた = と

- \* アウトプットとア' カムは 1対1 で、それは  
\* アウトカムを  → アウトプットが必要
  - \* ビジョンを実現するためには  
\* ビジョン 想定  - ① アウトカムの階層が3層かい
  - \* アウトカムの、 細分化が難しい

## 今後、改善する二点

- \* 今検討しているロダクトのアウトプットとアウトカムのマッピングを作成
  - \* KPIだけではなく、事業戦略の方向性もYoutubeの例のように定義してみる
  - \* ビジョンを分解してみる。
  - \* 短期、中期、長期に分ける

気づいたこと.

- DUT PNT 作るも大事ですが、その成果も.

重要

- プロトコルをなるべく早めに検討する

- 途中途中の確認と軌道修正.

改善すること.

- 共有.

- 早めに共有.

- 繙続的に共有.

## 気づき点

- おいて大きなギャップを  
示すままアレンジするケースに  
多く価値を見出していく(進むこと  
ある)。
- たとえ継続性や再現性  
は低いかも、それでも、後手後手  
で小さく積み重ねてミッションや  
アウトプットを言語化していく事で  
今の様な複数のアーティストの併用。
- KPIとプロト / ミッションの  
流れが必ずしも合致しない。
- 2h-2.1h 流れは違う。
- ~~やる気を上げたり~~ KPIと  
セーフティ(アートから離脱)

## 今後改善予定

- ~~KPIと流れ(ミッション)~~  
~~を~~
- ミッション オルタナ 仁73人かの  
べきのKPI、流れを 72.7H?  
やるべきが 72.7Hト内定人  
の影響 ~~を~~ 及び方針を  
作成。

< 3.1 かい >

今日 気がいい感じと、

企画1に対して 初果計測の設計が  
抜け落ちていると気がつくことが今まで  
あったが、その抜け落ちるの中にモ  
ルエーティング / タスク ワークもみるとか  
アウトカムの検査を見直されないと  
常に 駆逐的で 初果計測の設計  
がされている場合もある。そのため気がいい。

今後 改善する所。

アウトカムの 解像度を上げて タスクを…  
企画の提言に 臨む = や。

仮説検定と 2-2 の もの 時向を  
取る。常に 常識を持ち、提案する = や。

→ 企画1は 時向がかかると 云ふ議論。  
... コンサル = 良いね。

数字を中心としたところと、1=部分は 2-T + 人  
の改善を行っていく。自らの UI/UX デザイン -  
立場 2-2 となる。仮説検定と 2-2 の ブラッシュアップ  
の責任者。 (2-デザ, A/B テスト, UX  
4-4)

2-T. ~~エンジニア~~  
エンジニアリング

# [ふりかえり]

## ■ 今日気づいたこと

・アウトカム、アウトプット ~~は~~ 1214 ピンと書いていました...

・アウトカム = 成果。

売上中、DL数等の数字だけのもの？

世の中の ~~は~~ ひょうばんや声は？

→これはインパクト？

・アウトカム ~~は~~ エ-サ"-の声的旨も含むのなら。

デザイン思考とマッチするんじゃないかなと  
思った。

・アウトカムとエ-サ"-体験の粒が何か落れないだろ？

## ■ 今後、改善すること

・プロダクトが世に出た後と意図して  
開発を進めていく！！

・ユ-サ"-の声を聞く

3. "りかえ'"

え"りたこと

旦頃のなじみの

再認識

| 改善すること。

ユーフ"の声を生かして。

改善。

インスピ" - カ"ンハ"

キャンローンやアンケート等で..

大量に集められる物もあるので、

うまく活用する。

月3 会議記録

### 今日、気が付いたこと

✓ 実証実験は PPT からもよく理解できる。  
これが外への口述や「必要十分」は  
いい感じ。

✓ Beamer の成果をまとめる状況は  
「複数人」、「他意」「ネズミT」の大  
切な点は PPT ではなく自分たち  
の感想（感想）と感動したところ  
が最も大切。

### 今後、改善する点

- ✓ プロダクトオーナーの役割を明確化する。  
アドバイスや何が、PPT が何を理解するようには違う。
- ✓ PPT を通すには  
どうすればいいかを明確化。

→ いつも尊重の精神を、下の方まで  
ありやうございね。  
(説明に対する考え方について記載あります。)

## Q 今日気付いた

- ・ outcome が理解できた

→開発前の検証 アンケート

↓  
テスト (CBT) ユーザーテスト

↓  
無料でのユーザー テスト (OBT)  
β版でも

↓  
課題 new

↓  
無料コンテンツリリース  
+  
有料コンテンツリリース

up!

精進

の課程で予測

up!

## O Next Action

・アンケート 実施

(仮説づくり)

(アンケート項目作り)

・ β版 → 無料版 → 有料版までの計画作り

PayPay や  
X（ルカリ）かい  
そウ！

気が止ま

1. 介入外評価.
2. outcomeを段階(二分四子)
3. 效果看所の大事!

改善才子

1. 介入外 $2\sim7^{\circ}$ を勉強才子
2. 效果看所の大事に意  
識才子.

才子

# 今日. 気づいたこと

改善する.

、 outcome (= Step 1~3).

、 outcome の 1~3 (= なに)

「why?」 「what?」 と、 改めて 大切にしよう。  
「なぜ」 イビデンスを。

→ 原始目的と  
達成したか、不一致  
指摘する。

1=const の 7~2 (= なに)

Inception Deck と、 改めて 大切にしよう。

→ 4=ut+1~3  
再共有。

## 今日気付いたこと.

- ・アウトカムは.  
アウトプットによって  
得られた効果.
- ・インパクトを評価する.  
↳計測可能でなければ"  
ならない.
- ・アウトプットが「直接的な成果」  
であるに対し.  
上の2つが"とても難解.  
想像ができない.

## 今後改善すること.

- ・インパクト評価について学ぶ.

# 1. ふり返り

1. 今日気つけたこと

段階をふむもう考え方

ステークホルダーを統了というのはない

→ 違わぬ、違う結果差異がある】  
【それを調整する  
必要がある

アウトプット → アウトカム → インпут

作って終わりではない

2. 今後改善すること

・ ナレーティブを前進する

・ 測定につけて手筋

# ~ 3. りがえい ~

## 1. 感じたこと。

- ・これまでの POSTy バージョンの中でも、一番しきりが多い。
- ・アクトアクトと3クトかの関係を単純化(すぎ)?
- ・モヤモヤが更に深まったような…

## 2. 今後、改善すること。

- ・???

## 今日、氣で何を

技術的価値を追求する所  
アート、アートの先も。

今後 気球飛行技術は作る所  
大切に残すべき。  
アートと飛行機は必要  
状況は何か必要

アートの整理と選択と理解

## 今後、改善すべき

今後 自分達の飛行技術  
世界に与えたい。~~アート~~ は  
どちらかの力?

今後アートが何なのか?

振り返って確認する



気付いたこと

「プロダクトアートフルエンジニア」という  
デザイナーと開発者としての位置づけ。

プロダクトが何をすべきか  
直感で考案する事。

開発チームはアートフルUXを  
より意識する事。



改善するところ

- 「アートフル」を社内に広める。
- 勉強会でディスカッションする。

# 3.4 カスケード

## 今日気付いたこと

- ・アクトプロトによるインポートを意図せざりなかつた。KPIはあきらめとアクトカムについて仮説を立てるには誰の役割でよんでもう。
- POが意図せざりければ「資源配付」なども  
仮説の検証結果はさておき。

## 今後改善すること

- ・POがアクトカムを見失した時。  
これ、どうしてましたか?、?  
今このままではQAの仕事かたまると  
思つたりしました。意識したい。
- ・これはやらない  
これはダメだ。大をリストする  
→やらない事リストはあるとやりたいと思った

## 今日 気付いたこと

- $POT_{\text{測}} = 18 \text{ と } T-a$  の  
マットレスが目標より高くなる  
 $T = 37^{\circ}\text{C}$  が見えて  
 $T-a$  が不安になる

- 積極的行動 (もう現場)  
 $T_{\text{測}} = ?$   
なぜ"ストレートコール"  
起きないと (どうゆう?)  
「待つ」 どちら?

## 今後改善する点

- 何を測定するか
- (1) 測り定めるか
- 結果をどう評価するか
- どう対応するか

結果は  
偏るか?

- ゴーインがうまくいも  
T反説
- 測定も T反説  
といしていい

## 気づいたこと

- ・アウトカムに段階があること、ログで見えるもの→社会への影響
- ・アウトカムについてチーム、ステークホルダーと認識合あせの時間が足りてない
- ・チームが頑張りすぎる状況でなぜ起こるのだろう。(気づきより疑問)

## 今後改善すること

- ・アウトプットに対する、アウトカムの認識合あせの時間をとる!!
- ・とにかくチームメンバーと事実と目標の認識合あせをする!!